

あいちトリエンナーレ2010祝祭ウィークです! お祝いです!! お祭りです!!!  
 そして、祝祭の楽器と言えば、もちろんパイプオルガンにトランペット。  
 教会の楽器として使われる前の中世より、パイプオルガンは王を賞賛する特別な楽器として、  
 宮廷においても演奏されてきました。その後も教会典礼での祝祭儀式と並び、国王の戴冠式、  
 国家の祝典等の重要な儀式を飾る楽器として使われ続けてきた楽器です。  
 トランペットも古来より儀式や競技のファンファーレとして好んで使われ、  
 その華麗できらびやかな響きにより、祝祭には欠かせない楽器として演奏され続けてきました。



あいち  
 トリエンナーレ  
 2010  
 祝祭ウィーク共催事業

このトランペットとパイプオルガンという楽器の組み合わせによって、祝祭や祝典には欠かせない荘厳な響きの音楽、  
 どこか懐かしい響きのするお祭りを思わせる音楽、そして、一度はこの愛知芸術文化センターの大オルガンで聴いてみたい  
 パイプオルガンの名曲を集めました。

また、「あいちトリエンナーレ2010」のコンサートですので、愛知県美術館が所蔵するグスタフ・クリムト作の絵画  
 「人生は戦いなり(黄金の騎士)」についての作品「シーンとエプログ」、「a-i-c-h-i」「n-a-g-o-y-a」の文字を音とした  
 「あいちトリエンナーレのファンファーレ」の2作品の作曲を委嘱しました。



Uwe Komischke

### トランペット ウーヴェ・コミシュケ

チェリビダッケ時代のミュンヘンフィル首席。  
 18歳でゲルゼンキルヒェン市立交響楽団首席奏者となる。22歳のとき、巨匠セルジュ・チェリビダッケのオーディションにより  
 ミュンヘンフィル首席に指名された。チェリビダッケが最も信頼していた首席奏者であり、EMIのチェリビダッケ・エディションCDにも  
 その音を聴くことができる。ソリストとして、チェリビダッケ始め、マゼール、メータ、バレンボイム、サヴァリッシュなどと共演。  
 バロック音楽のスペシャリストとして、1997年ミュンヘンのプレントツ・レгентホールの新装記念コンサートでバッハの  
 「ブランデンブルク協奏曲第2番」、「管弦楽組曲第3番」などを演奏。コロノ・ダ・カッチア奏者としても際立った存在であり、  
 クヴァント、フルスターなどの協奏曲、バッハ「口短調ミサ曲」などを演奏している。  
 コッホ(オーストリア)等から各種CDがリリースされているほか、教授として教則本、編曲楽譜を出版、日本でも1993年から  
 洗足学園大学客員教授、日本トランペット協会講師として指導。名古屋国際室内楽フェスティバル出演を始め、東京、名古屋で  
 定期的リサイタルを開催。2001年秋には、オーケストラアンサンブル金沢の定期演奏会においてバッハの「ブランデンブルク  
 協奏曲第2番」を演奏、絶賛された。2002年NHKニューイヤークンサートに2度目の出演、アルチュニアンズのトランペット協奏曲を演奏。  
 1994年よりワイマールのフランツリスト音楽大学教授。



Yasuyuki Takeuchi

### トランペット 武内 安幸

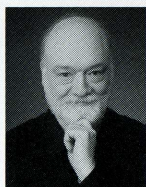
国立音楽大学器楽学科及びベルリン芸術大学器楽科卒業。トランペットを北村源三、フリッツ・ヴェーゼニック両氏に師事。  
 在独中はベルリン交響楽団首席奏者、ベルリン・ドイツオペラ契約団員として活動する。  
 又、バッハトランペットのソリストとしてヨーロッパ各地で多くのリサイタルを行う。  
 1994年から2001年までパイロイト音楽祭管弦楽団トランペット奏者となる。日本では数少ないコロノ・ダ・カッチア奏者でもある。  
 「オーケストラ・アカデミカ」メンバー。現在は愛知県立芸術大学音楽学部教授。



Aya Yoshida

### パイプオルガン 吉田 文

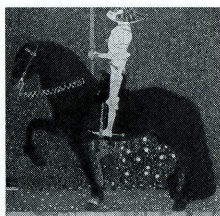
名古屋生まれ。幼少よりオルガニストを志し、中学卒業と同時に単身渡独。ケルン音楽大学カトリック音楽科、並びにパイプオルガン科を卒業。  
 92年以来名古屋、東京、大阪、京都、札幌等で意欲的なプログラムによるリサイタルを行い高く評価されている。  
 1995年より2006年までケルン南部司牧地区教会音楽家として勤務。典礼音楽の総責任者、またコンサートシリーズの企画・運営、  
 教会音楽フェスティバルの総監督としても活動。独自の企画による2枚組CD「Streiflichter」は多くの現地専門誌で高得点を得るなど、  
 その芸術的価値は多大な注目を浴びた。  
 現在はケルンと名古屋に在住。ヨーロッパ各地でも活発な演奏活動を続けており、各地のオルガンコンサート・フェスティバル等に招聘されている。  
 南山大学エクステンションカレッジ講師。「名古屋オルガンの秋」、「教会音楽フォーラム」主宰。



Thomas Meyer-Fiebig

### 作曲 トーマス・マイヤー＝フィービヒ

1949年ドイツ・ビーレフェルト市に生まれる。  
 ビーレフェルト市マリエン教会の主任牧師を父とし、幼少の頃からパイプオルガンを始めとする教会音楽全般に多大な影響を受けながら育つ。  
 デトモルト国立音楽大学へ作曲専攻にて入学。作曲をヨハネス・ドリースターとギセルヘル・クレーベに師事。1974年に教務課程科を卒業、  
 ドイツ国家資格を教務課程において取得後、1975年には音楽教育者のドイツ国家試験を取得。引き続き同大学院作曲課程科に学び、  
 1978年に卒業。1978年来日。現在は国立音楽大学及び大学院にて作曲科の教授として後進の指導にあたる一方、ドイツ各地の大学にても  
 特別講義講師としてたびたび招聘されている。  
 作品の分野は諸編成の交響曲、室内楽曲、声楽曲から和楽器のアンサンブル曲等にも及び、中でもパイプオルガンのための作品は  
 その創作活動の中で重要な位置を占める。これらの作品は世界各国の多くの演奏家により取り上げられ、ドイツ放送局、西ドイツラジオ、  
 ヘッセン放送局、NHK等の放送局等によっても頻りに収録、放送されている。



グスタフ・クリムト 人生は戦いなり(黄金の騎士)  
 1903年 愛知県美術館所蔵

### ヨハン・ゼバスティアン・バッハ@名古屋オルガンの秋2010

10月9日(土) 18:30	カトリック多治見教会(多治見修道院)
トランペット&オルガン	「バッハの珠玉集」 トランペット:武内安幸 オルガン:吉田文
10月24日(日) 15:30	カトリック五反城教会
オルガンソロ	「Bach&B-A-C-H」 オルガン:トーマス・マイヤー＝フィービヒ
11月7日(日) 15:30	カトリック東山教会
メゾピアノ&オルガン	「バッハと賛美歌」 メゾピアノ:信行香代子 オルガン:吉田文
11月14日(日) 15:30	カトリック五反城教会
オルガンソロ	「バッハをめぐる幻想」 オルガン:橋本淳
11月28日(日) 15:30	カトリック五反城教会
オルガンソロ	「幻のバッハ」 オルガン:吉田文